

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

1. カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL: 089-941-1441(代) FAX: 089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp>

★開館時間★(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日) 9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日)

携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>

スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol. 66 2020. 8



会えなくても、つながる



★YAコーナー展示★8月～9月

★新刊案内★

- ☆『謎解き日本列島』宇田川 勝司／著 ベレ出版
- ☆『あなたの不安を解消する方法がここに書いてあります。』
吉田 尚記／著 河出書房新社
- ☆『おはようからおやすみまでの科学』佐倉 統ほか／著 筑摩書房
- ☆『ドラえもんを本気で作る』大澤 正彦／著 PHP研究所
- ☆『育ちすぎたタケノコでメンマを作ってみた。』玉置 標本／著 家の光協会
- ☆『サンドウィッチマンの東北魂』サンドウィッチマン／著 ニッポン放送
- ☆『小説 サイダーのように言葉が湧き上がる』
イシグロ キョウヘイ／[著] KADOKAWA
- ☆『恋とポテトと夏休み』神戸 遙真／著 講談社
- ☆『山月記』中島 敦／著 ねこ助／絵 立東舎
- ☆『空のあらゆる鳥を』チャーリー・ヰー・ツ・アグ・ズ／[著] 市田 泉／訳 東京創元社

会えなくても、つながる

2020. 8. 1~9. 25

友だちや好きな人、遠くに住む家族…
会いたい人に会えない日々を経験した私たち。
でも、会えないからこそ生まれる物語があります。

本の中には、こんな物語がありました。



『恋文の技術』

森見 登美彦／著 ポプラ社 2009

大学生の青年が、離れた仲間たちに手紙を書きまくりま
す。手紙の往復ではなく、「往」だけで構成された本書。
「文通武者修行」は、果たして実を結ぶのか……?!
くすっと笑ってしまうので、朝読では要注意☆



『きみの声を聞かせて』

小手鞠 るい／著 偕成社 2016

日本の少女とアメリカの少年が、SNSを通じて交換を
始めたのは、詩と音楽。その言葉と旋律に想いをのせ、
時に悩みを抱えながら、交流は続きます。
そして、ふたりが出会う時がやってきます。



『小説 君の名は。』

新海 誠／著 汐文社 2018

そう、これも会えないからこそ生まれた物語でした。時
間も空間も隔てたふたりが、入れ替わることでつながり
ます。映画で見たあの場面この場面は、どう表現されて
いるのでしょうか。監督自身によるノベライズ!



『ばらいろのかさ』

アメリー・カロ／文 ジュヌヴィエーヴ・ゴドブー／絵
野坂 悦子／訳 福音館書店 2019

カフェで働く太陽のような女性アデルは、雨が苦手。
ある日、お店に長靴の忘れものを見つけます。またある日、
今度はレインコートが置かれたままに……。いったい誰が?
しっとりとした絵が美しい、カナダの絵本。



『未来への手紙』

『未来の自分に、手紙を書こう。』プロジェクト／編
講談社 2009

今、どう頑張っても会えない人。それは未来の自分です。
将来の自分に宛てる手紙は、自身を見つめ直すきっかけと
なり、過去・現在・未来のわたしをつなぎます。
そんな100通が1冊の本になりました。



他に、『マチネの終わりに』、『漂流郵便局』、『あしながおじさん』、
『世界は「」で満ちている』、『ねえ、委員長』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。
アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。